

1 題材名 くふうしよう！かしこい買い方・使い方

2 題材について

児童の実態

本学級の児童は、「朝食に合うおかずを作ろう」では、新鮮な食品の見分け方や保存の仕方について学んだ。また、本校では、地元でとれた野菜を給食に用いたり実物を見せて紹介したりしており、児童は低学年のうちから、地産地消について学んできている。さらに、修学旅行では、決められた小遣いの中から、自分の好みの物や家族への土産を購入することも経験した。このような児童が、自分と友達のもの選び方や金銭の使い方を比較したり、自分の買い物の仕方を見直したりすることは、賢い消費者になり、自分や他者、身近な環境にとって、よりよい生活を創り出す生活者になることへとつながっていくであろう。

題材のねらい

本題材は、内容項目(7)「物や金銭の使い方と買い物」を(5)「簡単な調理」と関連付けて扱い、調理実習で用いる材料の選択・購入について考えることをきっかけに、物や金銭の使い方を工夫できるようになることをねらっている。ここでは、健康面や安全面だけでなく、経済面や環境面へも目を向け、目的や自分の家庭のスタイルに合わせた食品の選択・購入の仕方に気付くことが大切である。そこで、生産地や値段の異なる野菜の中から、どのような条件にこだわり、どれを購入するかについて話し合うことを通して、自分とは違う友達のこだわりに気付き、消費者としての多様な価値観に目を向けることができるようにする。児童が、総合的な情報の中から、目的や状況に合ったよりよい品物を選択・購入する仕方について考え、より賢い消費者になるための意思決定力を身に付けていくことを期待したい。

指導にあたって

◇ 家庭との連携

題材全体を通して、家庭での実態調査「我が家の買い物チェック」を実施し、その結果をもとに学校での学習を展開していく。また、学習したことを家庭で実践していく場を設けるようにする。そうすることで、家庭での生活の場と学校での学習の場をつなぎ、より一層の実践化を図ることができるようにする。

◇ 問題解決的な学習

自分なりの買い物観をもとに、自分や家族、友達の買い物の工夫について話し合うことにより、目的に合った適切なもの選び方や買い方に気付くことができるようにする。その際、買い物をするときにこだわりたい視点を一人一人が明らかにすることで、課題を主体的にとらえ、問題解決に向けて意欲的に取り組むことができるようにする。また、自分の買い物観を「買い物こだわりグラフ」に表したり、気付きや考えをワークシートなどにまとめたりすることで、言語活動の充実を図るとともに、習得した知識や技能を生活の中で生かしていくことができるようにする。

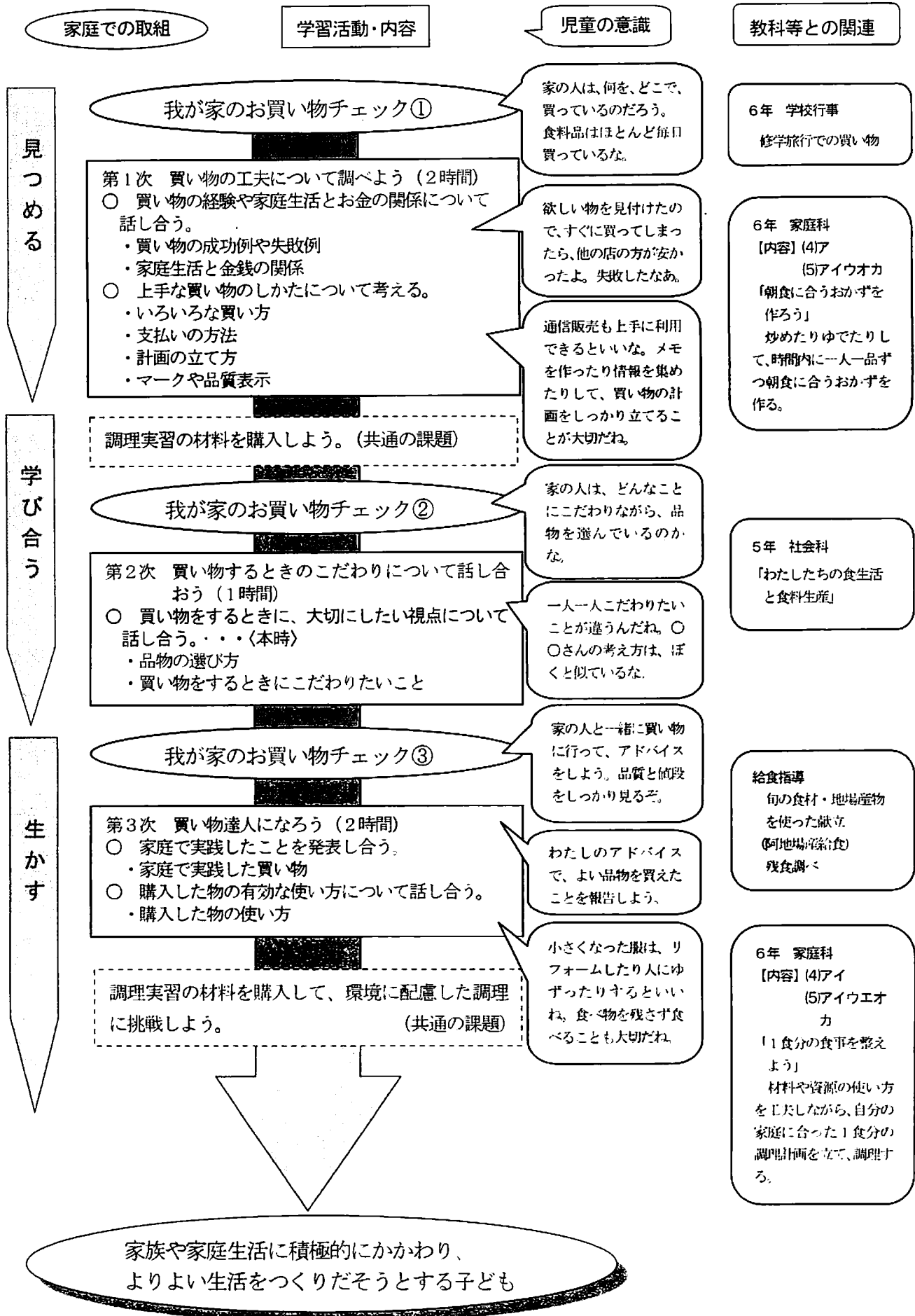
◇ 他の内容や環境教育との関連

「1食分の食事を整えよう」の調理に用いる材料を実際に選択・購入する活動を設けることにより、学んだことを生かすことができるようにする。また、環境に配慮した調理をテーマに調理実習に発展させることにより、材料の有効な活用法や資源の節約など、自分と環境とのつながりにも目を向けていくことができるようにする。

3 題材の目標

- 身の回りの物や金銭の使い方を見直し、日常生活で実践しようとする。 (関心・意欲・態度)
- 自分の生活とのかかわりで、物の買い方や選び方を工夫する。 (創意工夫)
- 目的に合った物を選び、購入することができる。 (技能)
- 目的に合ったもの選び方や金銭の使い方がわかる。 (知識・理解)

4 題材構想図 「くふうしよう！ かしこい買い方・使い方」(全5単位時間)



5 指導と評価の計画

【内容 (7) アイ】		【関】 家庭生活への関心・意欲・態度	【創】 生活を創意工夫する能力	【技】 生活の技能	【知】 家庭生活についての知識・理解
		本題材の評価規準			
		身の回りの物や金銭の使い方に関心を持ち、生活に生かそうとしている。	物や金銭の使い方を考えたり、工夫したりしている。	目的に合わせて、適切に購入することができる。	金銭の使い方や適切な購入のしかたがわかる。
次	時	目標	学習活動における具体的評価規準		
第一 次	1 (30)	買い物の経験について話し合うこと通して、自分の買い物について見直し、金銭の使い方に関心をもつことができる。	自分の生活とのかかわりから、物や金銭の使い方に関心をもっている。 (発言・ワークシート)		
	2	目的に合った品物の選択・購入のしかたについて調べ、計画的な買い物について考える。	自分の生活とのかかわりから、物や金銭の使い方を考えたり、工夫したりしている。 (発言・ワークシート)		目的に合った物の選び方や買い方について理解している。 (発言・ワークシート)
第二 次	3 (60) 本時	野菜を買うときに大切にしたい視点について話し合うこと通して、賢い消費者としての食品の選択・購入の仕方を追求することができる。	家族の生活や目的に合った物の選び方や買い方について工夫している。 (発言・ワークシート)		
第三 次	4	家庭での買い物実践を報告し合うこと通して、これからの生活に生かせることを見出すことができる。	目的に合った適切な買い物ができるように、自分なりに工夫している。 (発表・ワークシート)	目的に合った適切な購入をすることができる。 (発表・ワークシート)	
	5	購入した材料の有効な使い方について話し合うこと通して、環境に配慮した調理への意欲を高めることができる。	物の選び方や買い方に関心をもっている。 (発言・ワークシート)		物や金銭の有効な使い方を理解している。 (発言・ワークシート)

6 本時の学習指導

(1) 本時の目標

賢い消費者としての立場から、野菜を買うときに大切にしたい視点について話し合うことを通して、自分なりの食品の選択・購入の仕方を見付けることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動・内容と予想される児童の意識	支援と評価
<p>1 食品の選択・購入の仕方について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品を購入するとき気を付けること (鮮度、値段、生産地など) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 野菜は鮮度を見るといいよ。 ぼくの家では、肉は国産のものを買っているよ。 品質表示や賞味期限を見ることも大切だね。 </div>	<p>〈発〉食品を購入するとき、どんなことに気を付けますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの経験や家族へのインタビュー調査をもとに、野菜や加工食品などを購入する際のポイントを発表することができるようにする。 鮮度が異なる野菜やたまごを提示し、食品を選択、購入する際に、鮮度や品質表示を見ることの重要性を確認できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>買い物をするときこだわりたいことは、どんなことだろう。</p> </div>
<p>2 野菜の選択・購入の仕方について話し合う。</p> <p>(1) 生産地と値段の違うかぼちゃを見て、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜を購入するときこだわりたいこと (生産地、値段、味、量、旬など) こだわりの根拠 (安全面、経済面、環境面など) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> わたしは阿知須産のクリマサルがいいわ。クリマサルはおいしいし、地元のものが一番安全だと思うよ。 国産のものならどれも安全なのは、それにクリマサルが一番値段が高いよ。 値段で選ぶなら、外国産のものが一番安いよ。でも、安全面や環境面が気になるなあ。 </div>	<p>〈発〉どのかぼちゃを購入しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿知須産のかぼちゃ(クリマサル)、国産のかぼちゃ、外国産のかぼちゃを提示し、どのかぼちゃを購入するかについて、根拠をもとに話し合わせることににより、自分と友達の見方、考え方の共通点や差異点に気付くことができるようにする。 地産地消、フードマイレージ(*1)に着目している児童がいれば取り上げ、地域とのつながりや環境問題なども視野に入れながら話し合うことができるようにする。 <p style="text-align: center; font-size: small;">(*1) 食料が消費者に届くまで、どれくらいの距離を輸送されてきたのかを数字で表したものを、環境負荷を軽減するには、食料自給率アップや地産地消の実践が重要とされる。</p>
<p>(2) 自分のこだわりを「買い物こだわりグラフ」に表し、友達と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 賢い消費者としてのこだわり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ぼくは安全面が気になるので、生産地と鮮度を50%ずつにしたよ。 わたしが生産地を80%にしたのは、安全面と環境面から考えたからだよ。でも経済面も気になるので、20%は値段にしたよ。 ぼくは値段へのこだわりが100%。やはり安い方が家計にはいいよ。 </div>	<p>〈発〉食品を購入するとき、こだわりたいことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分がこだわりたいこととその割合を「買い物こだわりグラフ」に表し、互いに比較することにより、多様な価値観に気付き、消費者としての自分のスタイルを見つめ直すことができるようにする。 食品のトレーサビリティ(*2)にかかわる意見を取り上げ、食品の選択・購入の際、必要であれば安全性にかかわる情報を入手できるように気付かせる。 <p style="text-align: center; font-size: small;">(*2) 食品の生産から加工・流通・販売までの過程を明確に記録し、商品からさかのぼって確認できるようにすること。</p>
<p>3 「買い物グラフ」を修正し、賢い消費者としての食品の選択・購入の仕方をワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や状況に合った買い物 家族の生活スタイルに合った買い物 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目先の情報や思いこみに惑わされて購入するのではなく、正しい情報を収集したり、安全性や値段などを考えたりながら、自分の家庭に合った買い方をすればいいと思うよ。</p> </div>	<p>〈発〉賢い消費者とは、どのような買い方をする消費者ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の生活と他者や環境のことを関連付けながら、賢い消費者としての食品の選択・購入の仕方について自分なりの考えをワークシートにまとめることができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評〉家族の生活や目的に合った物の選び方や買い方について工夫している。 【創意工夫】(発言・ワークシート)</p> </div>